



登山口



大きな変形ブナ (P727 手前)

ブナ林を登る (P727 直後)



952 登山口 1117-1127 P 727 1227-1256
ブナの巨樹・昼食 1316 P 1041 1356-1402
山頂 1431-1500 P 1041 ・ コーヒー
1557-1605 P 727 1646 登山口



P1041 の登りの途中からスノーシュー



ヤセ尾根を経て山頂に

上谷山は 1200m弱の山で滋賀と福井の県境にある。先日横山岳に登ったときに北方向に見えた白いどっしりした山だ。P727 まではほとんど直登のきついものぼりだ。踏み跡はある。P727 はまだ残雪があったが、登りのなると消えてしまった。笹が一面にあり、ほとんどがブナ林だ。踏み跡はかすかであり、ほとんどないに等しい。登りも結構きつい。P1041 の手前で滋賀一のブナに出会う。急な斜面ゆえ、写真もそこそこで妥協。ここで遅い昼食とする。



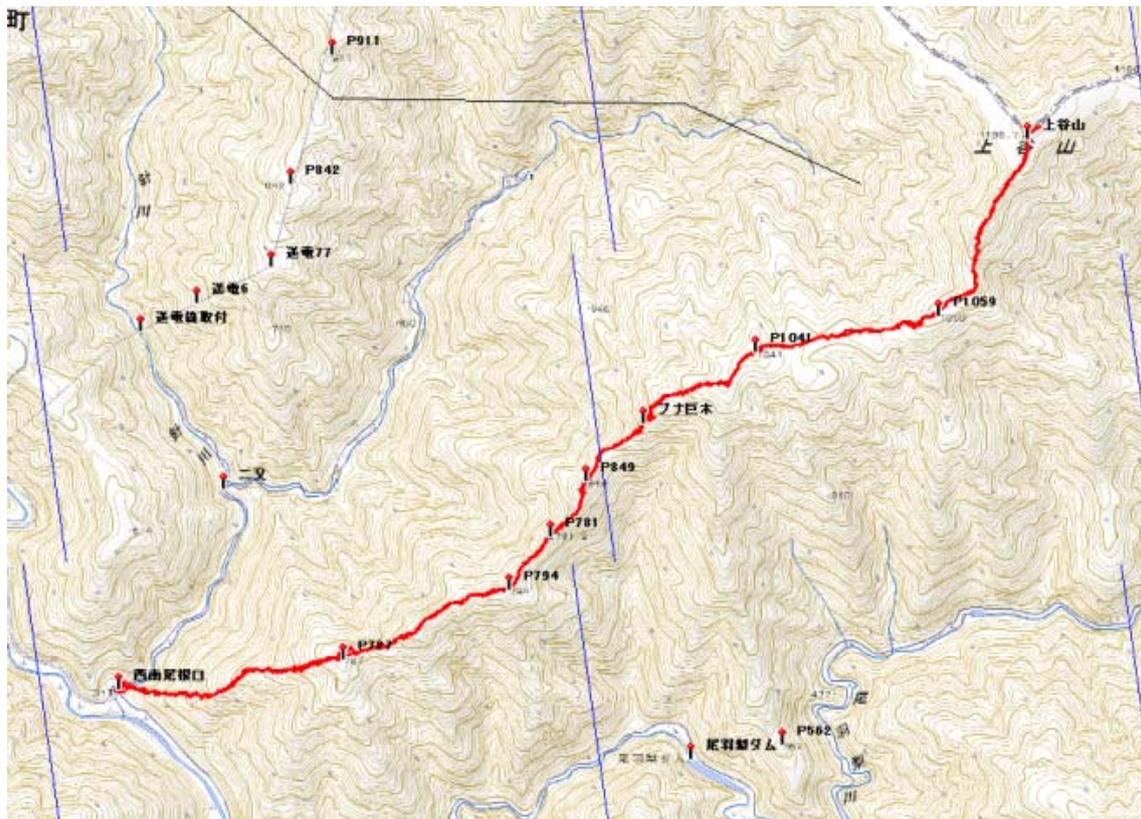
雪の降る山頂

登山口近くにあったミスミソウ

ブナの巨樹から少し登ると一面の雪となり、スノーシューを装着する。P1041 近辺から木が邪魔とならない景色を見ることができた。南に安蔵山、横山岳、金糞岳、西は大黒山、北は上谷山の西尾根、東は三国岳など岐阜と滋賀の県境の山。時間が遅くなったという事情もあり、P1041 に荷物を置いて、山頂までをピストンすることになった。1時間の予定が40分で着いたのだが、P1059あたりから風雪となり、景色ゼロ、耳が冷たくなってくる。山頂も雪のなかであり、樹氷があることが確認できたが、景色はゼロ。早々に退散する。30分でP1041に到着。ここで余裕のコーヒータイムとなった。

帰り道はきつい坂の下りとなり、加えて、降った雪が融けて、スベリやすいという最悪のコンディションであった。特に、P727の激下りでは笹やユズリハに掴まりながらの大変な下りであった。途中で見つけたミスミソウのみが救いであった。

登山口に着いた途端に急に腰に異常がでて、腰が伸びなくなってしまった。激下りに体が耐えられなかったようだ。帰宅後、体が「く」の字形にゆがんでいることを鏡で確認できた。二日後整体に行き、ゆがみを矯正してもらったが、2-3日の静養ということで、3/15の山行きは中止となってしまう。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

トップページは <http://mametil.googlepages.com/おじさんの山旅2（2009）>

HOMEは <http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/>